

摂何泉 OB

NTT 労組退職者の会・大阪支部協議会 発行責任者 鷺谷 憲
〒553-0003 編集責任者 小林 保
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティープラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382

美しく健康、生涯いきいき

支部協第4回総会議案

下記の告示のとおり第4回定期総会を開くにあたり総会議案の骨子をお知らせします。今年は、結成以来の課題であった、ブロック組織の編成移行を次期総会で行うための最終段階の取り組みを行います。また、退職者共済の支払い内容が大きく変わるという厳しい年であり、それに加えてNTTの経営の厳

しさがNTT労組の組織にも大きく影響を与えようとしています。

総会は代議員制ですので会員のみなさんの声は直接聞かれませんが、ブロック委員等を通じ意見をお聞かせ下さい。なお、傍聴は歓迎致しますので事前に支部協までお申し込み下さい。

会員の皆様には、日頃退職者の会の活動につきまして、ご理解と、ご協力を頂いていることに心より感謝申し上げます。

大阪支部協も会員数は4920名となり、本年中には5000名の大台に乗ると予想されます。高齢社会を迎え退職者も今までのように、のんびりと余生を送るような時代ではなくなりました。「安心、安全、安定」した暮らしをするために、退職者の会も組織力を発揮して現退一致の運動を押し進める必要があります。

私たちの活動は、親睦、交流、生き甲斐づくりの諸活動ももちろん重要ですが、これのみに止まらず、住み良い社会作りに一役担う必要があると考えています。会員数が増えるほど、地域に根ざしたきめ

第四回総会に向けて

会長 鷺谷 憲

細かい活動が求められます。その為に現ブロックを、地域密着型のブロックとなるよう、本年中にブロックの再編のための体制づくりを具体的に進めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また退職者の会の財政は、預託金の運用金利と会費、及び組合からの助成金で成り立っていますが、今日の低金利時代にあって当初計画の運用ができなくなっています。この預託金制度を維持していくために、大幅な共済給付金の減少をすることとなりました。ご不満もあらうと思いますが、今日の金融情勢をご賢察のうえでご了承をお願い致します。

最後に7月の参議院選挙での、紹介者カードなどをはじめ、格段のご協力に対しあつく御礼申し上げます。

告 示

N T T 労組退職者の会大阪支部協議会会則第7条にもとづき、第4回定期総会を次の通り開催します。

1. と き 2001年10月27日(土)
受付13時30分 開会14時
2. ところ コミュニティープラザ大阪3階ホール
〒553-0003 大阪市福島区福島3-1-73
電話 06-6454-1153
3. 構 成 ① 各ブロック代議員
② 大阪支部担当役員
③ 大阪支部協議会役員

4. 議 題 ① 2000年度活動報告
② 2000年度会計報告
③ 2000年度会計監査報告
④ 2001年度活動方針(案)
⑤ 2001年度予算(案)
⑥ その他

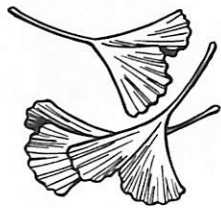
2001年9月28日
N T T 労組退職者の会大阪支部協議会
会 長 鷺 谷 憲

総会終了後、懇親会を開催します

昨年度の活動を振り返って

1. 組織問題の取り組み

結成時から懸案であった組織問題については、当初年度内にモデル地域ブロックの立ち上げも視野に入れて、理解を求めましたが、周知不十分の意見も多くあり、職域中心の組織運営から地域の交流を重視したブロックへの移行についての、会の真意は相当理解されてきましたが、地域割りについて矛盾があるとの意見をふまえ組織検討委員会を5回（通算10回）開催し、第3回総会で提起の地域割りを変更し、第2回ブロック委員全体会議で説明を行いました。具体的な変更内容は次年度方針で提起します。



2. 会員拡大の取り組み

N T T 労組大阪支部および西日本本社支部主催の退職予定者説明会に出席し、会の活動状況の説明と加入奨励を行いました。

しかし、その他グループ企業（ME等）における退職者に対する対応は今後課題を残しています。

また会員数は4900名をこえました。なおハガキ訪問による他支部協への移籍は82名でした。

3. 組織運営の活性化の取り組み

- ① 幹事会について
特定月を除き月最終の木曜日を定例日として13回開催し、諸種の事案に対応しました。
- ② 常駐体制について
週5日の常駐体制は完全に確立し、受付業務の多忙が予想される期間についてはブロック委員の協力を得て問題なく経過しました。
- ③ 事務局会議について
従来の事務局会議は三役会議と変更し、幹事会に提起する事案の骨子について、調整を行いました。また、会長及び事務局スタッフによる事務局会議も適宜実施し、各種事案に遅滞のないよう努めました。
- ④ ブロック委員全体会議について
ブロック委員全体会議は2回開催し、新しいブ

2001年度の具体的な取り組み

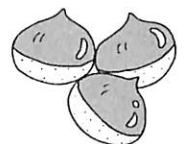
1. 組織問題の取り組み

第3回総会で提案した「退職者の会組織のあり方と今後の展望」のうち、ブロック割りの部分を除きその考えを基本に据え、次年度総会で地域型の新ブロックへ移行できるよう次の取り組みをします。

- ① 前回提案の9ブロックから4ブロック（中央、東部、北部、南部）に見直し大阪府以外の他府県も一括でその方面に近いブロック所属とします。具体的地域割りは別途お知らせします。
- ② 支部協、新ブロックの活動内容、役割を明らかにします。
- ③ ブロックに小地域活動母体（仮称、班組織）設置を考慮し世話役役員の掘り起こしに努めます。
- ④ 新ブロック地域に居住する、現幹事、ブロック委員を中心にブロック結成準備委員会を設け、拠点になるN T T 労組の分会との交流をはかります。
- ⑤ 新ブロックへの交付金を含めた財政の有効利用を検討します。

2. 会員拡大の取り組み

N T T 労組大阪支部の支援を得ながら取り組むと共に、組織の変動も視野にいれ、関係部門と相談しながら取り組みます。



3. 組織運営の活性化の取り組み

- ① 幹事会について
幹事会のさらなる活性化、効率化をはかります。
- ② 常駐体制について
定着している常駐体制の継続と必要に応じた打合せをおこない会員とのコミュニケーションに役立てます。
- ③ 三役会議・事務局会議について
三役会議の充実をはかり細部の運営に配意し、事務局サイドの打ち合わせを開催し、現状に留意して会の活性化に努めます。
- ④ ブロック委員全体会議について
ブロック委員全体会議を通じ幹事会、事務局との相互理解をはかります。

昨年度の活動を振り返って

ロック別に向けた組織改革に絞り議論を進めてきました。このテーマの解決がもっとも大切なことと位置づけております。次年度は運営についての意見も幅広く取り上げることも必要と考えます。

4. コミュニケーションの充実の取り組み

① ハガキ訪問について

従来の電話訪問をハガキに変更し実施しました。成果については議論もあるところですが、回収は約半数に終わりました。プライバシーについての指摘も多くあり、慎重に対応すべき課題です。さらに緊急連絡先の依頼も、事務局の求めたものと異なる理解をされたような感じを受けました。次年度はどのように扱うか論議される課題です。

② 会報の発行について

年6回発行し内容も常に改善を心がけてきました。4月発行の色刷り紙面には論議もありましたが、その評価は会員の皆様が十分に認識していただいていると理解しています。厳しい財政状況が目前にあることは承知しながら、あえて取り組んだ紙面の刷新です。支部協がすべての会員と交流できる唯一の手段、方法と信じています。ハガキ訪問のコメントにも多くの評価をいただいています。

③ イベント・サークルについて

会員相互の親睦、交流のためにバスツアー、ハイキング、社会見学などのイベントを実施しました。それぞれ成果をあげたところです。ただ、6月の一泊バスツアーは、日時の選定にも配慮し新しい参加者にも呼びかけましたが、結果的にバス1台となったのは参加して楽しかったとの評価を聴くとき少し残念でした。サークル活動については、リーダーの自信に満ちた運営が活性化をもたらしているといえます。支部協もサークル訪問記事の会報での紹介など協力しています。

5. 学習交流会の取り組み

当初定期的学習会の開設について、若干の不安をもちましたが、「いきいき講座」と名付けた学習会は50名の募集に対し、100名を越す応募があり急遽場所の変更等行い、成功裏に終始したことをアンケートでも確認しました。

2001年度の具体的な取り組み



4. コミュニケーションの充実の取り組み

① 訪問活動について

ハガキ訪問を見直し、会員の現況及びニーズを掌握する方法を検討します。さらに、プライバシーにも配慮し設問項目にも配慮します。

② 会報の発行について

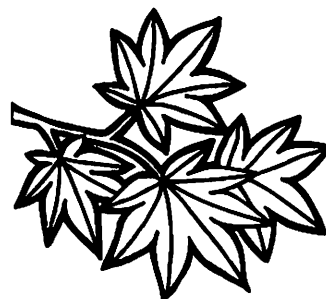
年6回の発行を堅持し、会員と親しく接する交流手段として、内容の充実をはかります。

③ イベントの強化

会員の意見を参考にしながら、会員の親睦・交流のため社会見学、日帰りバスツアー、泊旅行(含む海外)、ハイキングなどを企画します。

④ サークル活動について

サークル活動は、会報周知などを含め様々な機会をとらえて、育成をはかります。



5. 学習活動(いきいき講座)の取り組み

通年の取り組みとした学習会いきいき講座は多くの賛同を得て、好評のうちに推移しました。アンケートでも引き続き実施をの声も多くあり、テーマ、回数等充分検討し、公開講座も含め継続学習の充実をはかります。

昨年度の活動を振り返って

6. 健康ウォークラリーの取り組み

このイベントは参加者数はあまり増えていませんが、確実に定着しています。「歩く」運動は会員の理解を得ており、寄稿された感想文にもその雰囲気があふれています。また、このイベントに併せて安土城址ハイキング、鶴見緑地のスタンプラリーを実施しました。

7. 福祉活動の取り組み

- ① 愛のカンパは金額、人数ともに昨年を上回るご協力がありました。
- ② 介護保険制度についてテルウェル主催のセミナーに参加しました。
- ③ 北部ブロックが行っていた古切手などの収集による福祉関係へのカンパ活動を支部協が引き継ぐこと。また、ボランティアの登録制を行うため会員の公募を会報で行うこととしました。



8. 居住地組織への参加の取組み

西日本居住者会交流集会に参加し、活動の現状等について意見交換し、また、大阪支部協から、交流集会が今回も含め大きな前進が見られない実態を指摘しました。支部協としては、前年同様居住者会の総会に積極的に参加し、地域の運動に協力してきました。特に今年は、豊中、高槻、堺の各居住者会で支部協のパワーを紹介しました。

9. 生活改善の取り組み

連合、NTT労組と連携して社会保障システムの充実改善に向けた取り組みに、積極的に取り組みました。また、新しい取り組みとして大阪府主催の「生きがいワーカーズ活動」の説明・事例発表会に参加し、社会に役立つ活動事例等を学びました。

2001年度の具体的な取り組み

6. 健康ウォークラリーの取り組み

従来どおり実施します。さらに月間中にハイキング、スタンプラリー等のイベントも計画します。



7. 福祉活動の取り組み

- ① 愛のカンパについて
会員の愛と善意の象徴である全電通近畿社会福祉事業団への「愛のカンパ」は引続き実施します。
- ② 介護保険制度等社会保障にかかわる情報収集や、NTT労組、連合等と連携し学習も含め取り組みます。
- ③ ボランティア活動について
支部協としてボランティア活動に登録し活動することとし、活動に参加できる会員を、会報を通じて公募いたします。
また使用済み切手、テレホンカードとベルマーク収集を通じての福祉関係カンパを引き続き行います。

8. 居住地組織への参加の取組み

NTT労組大阪支部が進めている地域居住者の会に積極的に参加し、現・退一致の居住地組織の強化に協力します。



9. 生活改善の取り組み

- ① 年金・医療・介護・雇用など社会保障システムの充実改善に向けて、NTT労組、連合等と連携して取り組みます。
- ② 大阪府の「生きがいワーカーズ活動」を参考に、元気なうちに社会に役立つ活動、就労的生きがいづくりを視野に入れた活動を模索するグループの立ち上げを準備したいと考えています。

昨年度の活動を振り返って

10. 政治改革の取り組み

NTT労組、連合高退会の要請をふまえ第19回参議院選挙に精力的に取り組みました。結果は、組織内候補同様に取り組んだ比例区高見候補は惜敗しましたが、大阪選挙区の山本候補は勝利しました。

11. その他〔マイラインの取り組み〕

NTTが総力をあげたマイライン加入の勧誘について、近畿の退職者の会全体が協力して取り組みました。大阪支部協も早期から準備はしていましたが、要請の遅れもあり十分な対応ができず、件数としては不満足な結果となりましたが、今後とも引き続き協力していきます。



2001年度の具体的な取り組み

10. 政治活動の取り組み

弱者に視点をおき、社会保障制度の充実を重点とする政治への改革を目指して、NTT労組に協力しつつ、予想される国会解散も視野に入れ、総選挙への対応も積極的に取り組みます。

11. その他〔退職者共済の見直し〕

前号でもお知らせしましたように、5万円の預託金の運用利益は、超低金利の状況の中では、見直しは止むを得ない措置であります。それに伴い2002年1月1日より共済金の支払い内容が改定になります。この内容については、混乱を招かぬよう会員への周知を行います。

さらに退職者の会の財政も本部交付金の減少等厳しい対応となっております。

支部協財政もそれに沿って、行くこととなりますが、会員の協力を得ながら運動をすすめます。

共 済 金 の 支 払 い 状 況

おめでとうございます

孫 の 出 生

稲原 清美 鍛 誠治
中野 幸代 高垣 繁子
山腰 貞美 八塚 和子
竹中 清 瀧川美智子
泉 みさを 西野 勲
岡本 章 井本 達子
生田八代子 小寺 三男
石田 明 島田 善通

黒川 早苗 高木 武雄
山里 徹司 下司 二郎
岡 実 樋口 敏明
深井 正勝 筒井 孝
永嶋 秀郎 林 和夫
柄谷 義男 北条 久子
仲 新一 佐藤 早苗
奥 丈弘 大澤 満男
丸山 房義 山浦 孝雄

西川 義広 尾崎 千紘
中野 茂 橋本 英代
鎗水 武 鳶 克
北中 昇 西野喜佐子
東内 和子 池口小夜子
宇都宮篤子 吉田 次男
白井 孝二 長谷 修三
長崎 稔 宮本 勇
石川 浩光 中西登美子

山崎すま子 大家 賢一
鳶 喜代子 村山 正純
藤井 本弘 小田加代子
東 勇 前田 利明

結 婚

高木貴美子

お悔やみ申しあげます

配偶者の死亡

宮腰 良平 水本 静恵 高塚 晃
埜川 游治 鮫嶋 美賀

同居の親族死亡

村尾 明子 中嶋 公子 大橋 康子
大橋 善一 奥 糸子 八木 一雄
濱 敏昭 佐藤 早苗

ご冥福をお祈りします

会員死亡 7月25日～9月3日

懸樋千登代 米澤 徳人 林 義太郎
横関 直一 三浦卯一朗 南野 良春

「仲間入りしました」 9月1日現在

新入会員ご紹介

✓曾和 幸子 ✓竹内 佳子 ✓辻 政和 ✓平野 春江 ✓西尾 勉
✓杉田 信明 ✓新 美千子 ✓鳥谷 英之 ✓木村 忠雄 ✓若村 政博

ボランティアに登録しませんか

全電通近畿社会福祉事業団の施設である淡輪の「愛の家」や須磨の「あいハート須磨」を対象とするボランティアといえば、従来は組織の呼びかけで団体で訪問し、ボランティアを行ってきました。

【ボランティアも自主性を】

しかし、あの阪神大震災以来ボランティアは強制されるものでなく、自発的な活動であるべきとの考えが定着してきました。このことからN T T労組も今はボランティア運動についての登録制の呼びかけを行っています。「大阪支部協」も、福祉担当者会議で登録制の活動を行うこととしました。



【登録制とは】

これは、近畿社会福祉事業団に、退職者の会として登録をしておき、会員のみなさんに自分ができると思うボランティア（例えば草刈りならできる、縫製ならできる、車椅子などの補助ならできる、お年寄りとお話ならできるなど）をやれる会員を募集し登録しておきます。そして、例えば事業団から会に対し夏祭りをするので、設営をできる人、車椅子の補助者などの依頼がくると、登録されていた適応できる会員に連絡し、都合がよければボランティアに行ってもらおうという制度です。

【登録にご協力を】

これならできると思われる方、時間に余裕がある方、新しい仲間と知り合いたい方、ぜひ退職者の会までご応募ください。

いきいき講座 オプション ～大阪城巡り～

講座受講生（公開講座を含む）を対象に大阪城巡りのオプション講座を次の要領で実施いたしますのでお知らせいたします。

なお、アンケートの結果、希望コースすべて10名以上となりましたので3コースとも実施します。

日 時 10月11日(木)
AM10時～正午

集合場所 JR大阪城公園駅(10時時間厳守)

持 ち 物 雨具・筆記用具

※ 雨天決行、大阪城ボランティアの方に案内をして頂きます。



興味のある方は参加しませんか

近畿医学検査学会 公開講座

10月27日(土) 10時30分

ところ 神戸国際会議場

主 催 近畿臨床衛生検査技師会
後 援 兵庫県・神戸市・兵庫県医師会
招待講演 「兵庫県における災害医療システム」

講 師 小澤 修一先生(兵庫県 参事)
フォーラム 安心して輸血を受けていただくために
人の命の大切さを感じて
—白血病を語る—

サークル訪問

支部協には現在8つのサークルがあります。これらのサークルを訪問活動振りを紹介し、サークル会員の増加につながればと思います。



私にも出来ました

和紙人形サークルは関西中央支部協時代も含め、創設6年の歴史をもつ。

現在の会員は14名（全員女性）でなごやかな雰囲気
高山先生・佐野助手の親切な指導により、1回で一体（手の込んだ作品は2回になるときもある）の作品が完成すること。私も一日入門し、先生の手助けもあったとはいえ、写真の作新を完成。自宅へ持って帰り女房に喜ばれました。

会費は材料費を含め一回3,500円～4,500円

ところ 梅田生涯学習センター

（JR大阪駅東口から徒歩約10分）

とき 毎月第1木曜日10時～15時

世話役は 中辻 千代子ブロック委員

入会希望者は支部協まで ☎06-6451-8100

和紙人形サークル

テニスサークル

テニスサークルのホームグラウンドNTT和泉総合運動場は、周囲が森に囲まれ、コートは4面、事務棟には30人程度の休憩施設（食堂）もあります。

2000年5月に結成され月4回の例会（金曜と日曜、午前9時～11時）と個人が電話等で予約し自由に参加出来る（土曜と日曜）場合もあります。

会の運営は、入会金2000円（家族は一割増）とのこと。

現在の社会情勢で一般の会社では、運動施設がマンション等に変更されており、NTT西日本でも構造改革等の変化でこの運動場が閉鎖されないか一抹の不安があるとの会員の声もありました。

会員のみなさんがこの環境を今後も維持され、健康に留意し、無理せず練習されることを祈ります。



連絡・問い合わせ先 ☎0724-63-8222

eメール h.yuzuru@abelia.ocn.ne.jp

会長 廣道 襄 幹事 田川 和男

幹事 村上 雅昭 幹事 畑江 武

幹事 岡本 章 会計 森崎代有子

参加をお待ちしています

10月のハイキング

六甲方面（約13キロ健脚向き）

10月21日(日)

集合場所 阪急神戸線 芦屋川駅

改札出口 午前10時

天気予報 雨天確率40%以上中止

申し込み 10月12日(金)まで

支部協 ☎06-6451-8100

参加費 無料

交通費・弁当・飲み物等は各自負担

ゴルフコンペ ー忘年コンペ兼総会ー 箕面カントリー

12月12日(水)～13日(木)
スタート 午前9時

定員 10組（40名）先着順

宿泊場所 箕面市 箕面山荘

☎0727-22-2191

申し込み 11月9日(金)まで

支部協 ☎06-6451-8100

会員は参加不参加にかかわらず必ず電話下さい。

全メンバーの名簿でチェック漏れのないようにします。

N T T 労組 大阪支部だより

全国大会での中央執行委員長の提起

N T T 労組第4回定期全国大会は、8月29・30日に香川県高松市の県民ホールにて、構成員・傍聴者約2600名が集う中、盛大に開催され、①雇用確保を大前提とした構造改革に対する取り組み②2002春季生活闘争について③組織改革の検討・推進④組織の活性化に向けた取り組み⑤財政の確立に向けた取り組み等を中心とする向こう1年間を展望した「2001年度運動方針」を満場一致決定した。

大会冒頭、津田中央執行委員長は、

①第19回参議院選挙についての御礼と、比例区の高見裕一君の選挙では、結果として惜敗となったことへのお詫び、組織人員を下回る得票となったことについての検証。日常の執行活動における役員と組合員の信頼を基盤とした求心力の再構築と、選挙闘争建て直しにあたって検討の出発点にしたい。

②連合運動の課題については、組織に対する求心力が低下しているとして深刻な現状認識が必要である。雇用環境が一層厳しくなるとの想定のもと、雇用対策と併せ、地域最賃・産別最賃や、年金などの社会保障の取り組みにスピードを上げて、私たちの運動をシフトしていく必要がある。新たな連合運動への転換に思い切った舵取りを期待したい。

③「更なる構造改革」については、既に会社側から提案された退職・再雇用および諸労働条件見直しについて、(i)東・西会社の財務状況は予想をはるかに超えて悪化していること。(ii)東西会社の財務問題が構造的なものである以上、これを先送りしたのでは、雇用の確保はまさに危機的状況に陥ること(iii)情報通信産業は大きく様変わりをしており、私たち自身もこの変化に対応し得る体制を早期に確立していかなければならないこと。等を鑑み、議案に提起した要求を実現することを前提にこの枠組み

のもとで大筋として受け入れることとしたい。現在の諸労働条件は、全電通労働運動の蓄積であり、受け入れがたいとする心情は当然であるが、この構造的な変化の時代を私たちは現実として認めざるを得ない。新しい体制作りのために激変する条件はあえて受け入れるが、摩擦の緩和措置だけは会社として十分に行うことが会社提案を受けるにあたっての要求であり、雇用確保にあたって今春闘で確認した「許容し得る条件」での会社回答が、中央本部が会社提案を受け入れる条件である。

④これからの情報通信政策については依然としてN T Tグループ解体論は後を断たない。今回の構造改革によって財務悪化を修復していく。また単に財務体質を健全化する方策のみでなく、自らの経営方針は自主的に設定し、その実行に責任を持って対処する自立した経営姿勢への転換でなければならない。N T Tの経営陣は経営責任を賭ける程の気概をもつべきである。との委員長挨拶を行った。

引き続き、鳩山民主党代表以下の来賓挨拶を受けた後、白石事務局長より「一般経過報告ならびに2001年度運動方針(案)」の提案を行った。

その後、大会代議員から一般経過報告ならびに運動方針案について、①第19回参議院選挙②更なる構造改革等についての意見・質問が出された。とりわけ、更なる構造改革については、若年層の将来展望や、今後の組織対応などについての活発な議案審議を受けて、2001年度運動方針をはじめとする方針案、大会スローガンである「組織の総力を結集し雇用確保を最優先した要求の実現と構造改革による確かな未来を切り拓こう！」を満場一致決定した。最後に津田中央執行委員長の先唱による団結ガンバローを三唱し全ての日程を終了した。

【編集後記】

今年度も総会議案の特集で最終号になります。予定どおり六回発行できました。いつものことですが、会報が全会員交流の原点です。さらに親しくお付き合い願います。

参院選に政治の変化を期待しましたが、経済不況が進むばかりには全く失望します。人為的にインフレを起し二・三%の物価上昇で「不況脱出を」の声が出ていますが、我々には大ダメージです。そんな数値で止まることがない例を見てきました。軽々しい発言に腹立たしいばかりです。構造改革も権力の二重構造の重圧に喘いでいるように思えます。政治は仮装権力に振り回されているのでしょうか。退職者共済が来年から見直しになります。経済的な事情による改正です。制度の健全化には市場の金利動向に見合った運用が迫られることになりました。新しいタイプの生命共済もスタートします。

今年はまだに酷暑でした。それだけ秋が待たれました。まぶしい日差しの中で穏やかな日々が過ぎることを願います。